

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和 4年1月14日

協議会名:鳥取市移動等円滑化協議会

評価対象事業名:地域公共交通バリアフリー化調査事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通網形成計画等の計画策定等に向けた方針
<p>【事業内容と結果の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状と課題の整理 ⇒移動等円滑化促進地区の候補地区選定に向けて、人口分布や主要施設の分布状況、公共交通の状況などについて整理を行った。 ・市民及び関係団体等への調査 ⇒バリアフリーに関する意向を把握するため、市民アンケート調査を実施するとともに、高齢者団体及び障がい者団体等へのヒアリング調査を実施した。 ・移動等円滑化促進地区の設定 ⇒上記の情報をもとに、移動等円滑化促進地区の設定を行った。 ・協議会等の開催 ⇒有識者や関係団体、交通事業者団体等から構成される協議会において、協議会の運営支援や必要な資料作成・とりまとめを行った。 ・移動等円滑化促進の中間案の作成 ⇒上記の内容をまとめ、鳥取市バリアフリーマスタープランの中間案を作成する。 	<p>A 事業計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年8月から令和4年2月に、バリアフリーマスタープラン策定に向けた調査検討業務を実施し、中間案を作成。 ・令和4年度も引き続き策定業務を継続し、令和4年度中に鳥取市バリアフリーマスタープランの公表を行う予定。

令和3年度 地域公共交通確保維持改善事業 事業評価 鳥取市移動等円滑化協議会（地域公共交通バリアフリー化調査事業（移動等円滑化促進方針策定事業））の概要



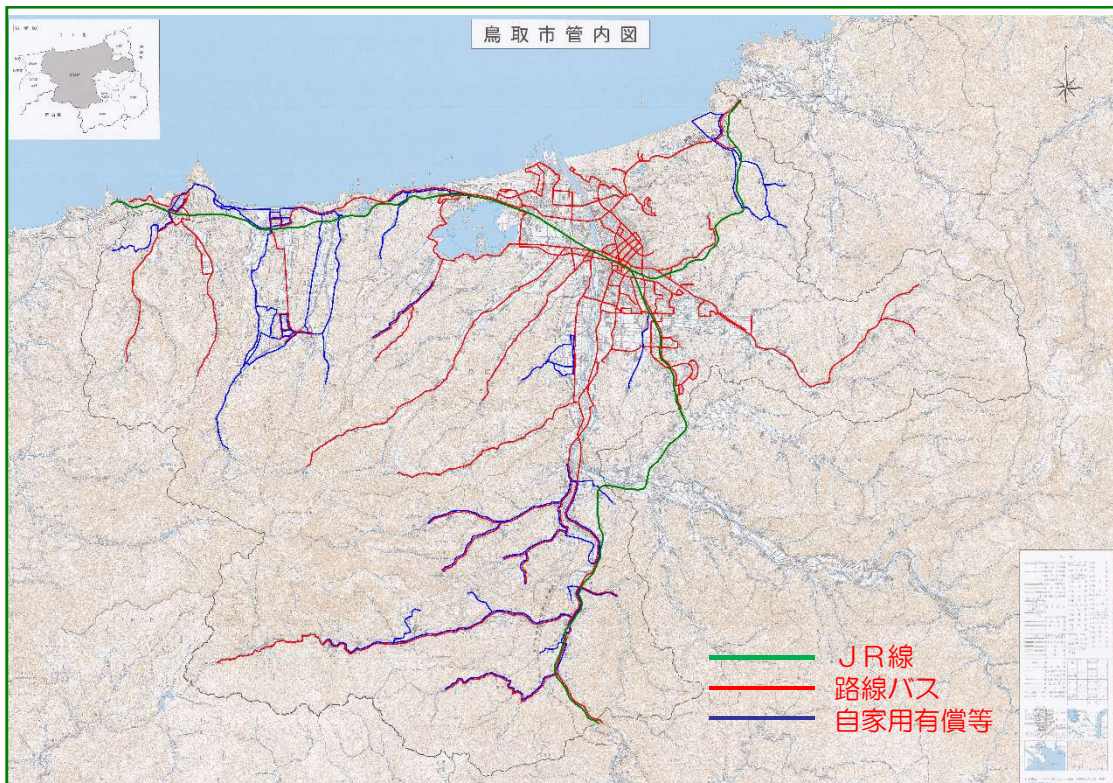
鳥取市の概要

- 平成16年11月に1市6町2村が合併
- 人口 18.5万人（令和3年11月現在）
- 面積 765.3平方キロメートル

地域公共交通の現況

鳥取市移動等円滑化協議会の構成員

国土交通省 鳥取県 鳥取市 鳥取警察署 学識経験者 鳥取市自治連合会
 鳥取市社会福祉協議会 鳥取市老人クラブ連合会
 鳥取市身体障害者福祉協会連合会 鳥取県視覚障害者福祉協会
 鳥取県聴覚障害者協会 ゆうゆうとっとり子育てネットワーク
 鳥取市私立幼稚園・認定こども園協会 JR西日本 鳥取県バス協会
 鳥取県ハイヤータクシー協会 鳥取商工会議所 鳥取市商店街振興組合連合会
 鳥取市ホテル旅館組合 鳥取市観光コンベンション協会 鳥取県東部医師会



地域公共交通の現状

- 鉄 道 : JR山陰本線
: JR因美線
- バス路線 : 109系統
- 乗合タクシー : 4地域
- 福祉有償運送 : 4団体
- 自家用有償旅客運送 : 市バス 3路線
: 共助交通 5路線
- 高齢化率 : 約30%

具体的な課題・問題点

本市においては、平成14年度に旧交通バリアフリー法に基づき、「鳥取市交通バリアフリー基本構想」を策定し、公共交通や道路を特定事業としてバリアフリー化の促進に取り組んできた。しかしながら、目標年度を過ぎた後見直しができず本市においてバリアフリー化を進める独自の計画がないため、十分な取組ができているとは言えない状況であり、中心市街地以外の地域における取組については未だ多くの課題が残っている状況である。

また、令和元年度に市役所本庁舎が鳥取駅近くへ移転したこと、東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機とした共生ホストタウン認定やワールドマスターズゲームズの開催地になるなど、近年本市におけるバリアフリー化の重要性が一層増している。

今後市域全体のバリアフリー化を一体的に進めるため、移動等円滑化促進方針の策定が必要。



計画策定事業の実施

調査事業の概要

- ・現状と課題の整理
- ・市民及び関係団体等への調査（市民アンケート、ヒアリング調査）
- ・移動等円滑化促進地区の設定
- ・協議会等の開催
- ・移動等円滑化促進方針の中間案の策定

地域住民の意見の反映

- ・本年度12月に市民2,000人を対象にアンケート調査を実施した。
- ・バリアフリーに関する意向調査や現状の課題把握のために、高齢者団体や障がい者団体及び交通事業者等へのヒアリング調査を実施した。

協議会における検討

協議会の開催状況 1回開催

- 第1回（11月26日）
 - ・バリアフリーマスタープラン策定に伴う概要について
 - ・策定スケジュールについて
- 第2回（R4.2月上旬開催予定）
 - ・市民アンケートの結果報告
 - ・バリアフリーマスタープラン中間案について

事業実施の適切性

- ・計画に基づき調査検討に取り組み、市民アンケート及び関係者団体等へのヒアリング調査を行い、多くの当事者意見を整理し、適切に実施することができた。

調査事業の結果の概要

1. 現状と課題の整理
 - 移動等円滑化促進地区の候補地区選定に向けて、人口分布や主要施設の分布状況、公共交通の状況などについて整理を行った。
 - 上位計画等に基づきバリアフリーに関する課題の整理を行った。
2. 市民及び関係団体等への調査
 - バリアフリーに関する意向を把握するため、市民アンケート調査を実施するとともに、高齢者団体及び障がい者団体、交通事業者等へのヒアリング調査を実施した。
 - アンケート調査は18歳以上の市民2,000名を対象に実施し、回答者675人（回答率：33.8%）。
 - ヒアリング調査は利用者団体、交通事業者団体等の8団体に実施。
（鳥取市老人クラブ連合会、鳥取市身体障害者福祉協会連合会、鳥取県視覚障害者福祉協会、鳥取県聴覚障害者協会、ゆうゆうとっとり子育てネットワーク、JR西日本、鳥取県バス協会、鳥取県ハイヤータクシー協会）
3. 移動等円滑化促進地区の設定
1,2で整理した情報をもとに、移動等円滑化促進地区の選定を行う。
4. 協議会等の開催
有識者や関係団体、交通事業者等から構成される協議会において、協議会の運営支援や必要な資料作成・とりまとめを行う。
5. 移動等円滑化促進方針の中間案の作成
1から4の内容をとりまとめ、鳥取市バリアフリーマスタープランの中間案を作成する。



地域公共交通計画等の計画策定 に向けた方針等

- 令和3年8月から令和4年2月に、バリアフリーマスタープランの策定に向けた調査検討業務を実施し、中間案の作成を実施。
- 令和4年度には、バリアフリーマスタープランの素案を作成した後、パブリックコメントを実施し、令和4年度末に鳥取市バリアフリーマスタープランの公表を行う予定。